第3種郵便物認可 1部225円 2012年10月14日(日曜日) クリスチャン新聞 4

JAPAN MISSION CENTER 一人でも多くの人々がキリストの救いにあずかるために

―日本宣教連合―

教会協力の向こうにリバイバルが

東日本大震災救援活動が最初の働き

「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます」（Ⅰテモテ2:4）

このことばのもとに、一般社団法人ジャパンミッションセンター（JMC）は設立されました。2010年の関西フランクリン・グラハム フェスティバル（KFGF）で癒された教会協力者。他のキリスト教超団体と力を合わせ、地元の教会を助けるJMCの祈りはこれからの働きの発足は、東日本大震災の救援活動が発端となりました。

本大震災の救援活動が発端となりました。

震災から1年ながら、今も復興への道のりに手を携え、「一人でも多くの人々がイエス・キリストの救いにあずかられますように」と、JMCの目的は宣教3年に明らかにされている。

「日本の諸教会が一つであること」を強調し、主体となって、キリスト教諸団体の協力を得て、聖霊の働きの中で、イエス・キリストを賛美し、伝え、人々が救いに導かれ、教会を建て上げ、日本、アジア、及び地の果てにまで神の国が拡げられること」

6月7日に開かれた発会式では、この3年を掲げた高田義三代表理事が所信表明を発表。「なんとかして日本の救いのために用いられたい、聖霊の豊かな実りの見られる働きであるために、働きの土台となるのは祈りのネットワーク。そのために教会や諸団体等の宣教協働のサポートを、必要に応じて行う。それが人材育成に繋がる。また、宣教活動に関する成長センターで開くキッズ&ファミリーサミットミッション（KFSM）も、KFGFのキッズフェスティバルから生まれた働きである。子どもたちとの家族の救いのために働きを続けている。震災時は教会に呼びかけて集めた支援物資を被災地の子どもたちに届けて喜ばれた。

10月20日に大阪市の東生命館で開催された第一回目「JMC事務局」続けられている祈祷委員会による祈り会も、JMCの働きを支える大きな力となっている。

発会式の模様を締めくくった藤掛善一氏の祈りに、参加者は皆心を合わせた。

「一人が救われるために、私たちを用いてください」

●JMCの働き●
教会と協力団体と共に推進

関西フランクリン・グラハム フェスティバル(KFGF)のスピリット継承

JMCの目的は宣教3年に明らかにされている。

「日本の諸教会が一つであること」を強調し、主体となって、キリスト教諸団体の協力を得て、聖霊の働きの中で、イエス・キリストを賛美し、伝え、人々が救いに導かれ、教会を建て上げ、日本、アジア、及び地の果てにまで神の国が拡げられること」

6月7日に開かれた発会式では、この3年を掲げた高田義三代表理事が所信表明を発表。「なんとかして日本の救いのために用いられたい、聖霊の豊かな実りの見られる働きであるために、働きの土台となるのは祈りのネットワーク。そのために教会や諸団体等の宣教協働のサポートを、必要に応じて行う。それが人材育成に繋がる。また、宣教活動に関する成長センターで開くキッズ&ファミリーサミットミッション（KFSM）も、KFGFのキッズフェスティバルから生まれた働きである。子どもたちとの家族の救いのために働きを続けている。震災時は教会に呼びかけて集めた支援物資を被災地の子どもたちに届けて喜ばれた。

10月20日に大阪市の東生命館で開催された第一回目「JMC事務局」続けられている祈祷委員会による祈り会も、JMCの働きを支える大きな力となっている。

発会式の模様を締めくくった藤掛善一氏の祈りに、参加者は皆心を合わせた。

「一人が救われるために、私たちを用いてください」

サマリタンズ・パースとともに被災地で救援活動

「ザマリタンズ・パース（SP）」の救援活動の国内ディレクターとして、SPの開催に支援・協力の輪のメンバーと共に現地入りし救援活動を行ったのが最初の働きでした。関西エリア・キリストの協力を得て、聖霊の働きの中で、イエス・キリストを賛美し、伝え、人々が救いに導かれ、教会を建て上げ、日本、アジア、及び地の果てにまで神の国が拡げられること」

6月7日に開かれた発会式では、この3年を掲げた高田義三代表理事が所信表明を発表。「なんとかして日本の救いのために用いられたい、聖霊の豊かな実りの見られる働きであるために、働きの土台となるのは祈りのネットワーク。そのために教会や諸団体等の宣教協働のサポートを、必要に応じて行う。それが人材育成に繋がる。また、宣教活動に関する成長センターで開くキッズ&ファミリーサミットミッション（KFSM）も、KFGFのキッズフェスティバルから生まれた働きである。子どもたちとの家族の救いのために働きを続けている。震災時は教会に呼びかけて集めた支援物資を被災地の子どもたちに届けて喜ばれた。

10月20日に大阪市の東生命館で開催された第一回目「JMC事務局」続けられている祈祷委員会による祈り会も、JMCの働きを支える大きな力となっている。

発会式の模様を締めくくった藤掛善一氏の祈りに、参加者は皆心を合わせた。

「一人が救われるために、私たちを用いてください」